

学校だよりBIG TREASURE

大きな宝

児童数 545名
発行責任者 栗東市立大宝小学校
校長 坂東 靖記
発行日 令和7年1月31日

「大寒」、そして、もうすぐ「立春」です。

二十四節気は、1年間を太陽の軌道をもとに約15日ずつ24に区分し、季節を表す名称がつけられています。大寒(だいかん)はその最終節。1年で最も寒さが厳しい季節とされています。2025年の大寒は、1月20日(月曜日)から2月2日(日曜日)です。

大寒の最終日がいわゆる「節分」で、その翌日に「立春」を迎えます。節分の日付は地球の公転周期(約365.2422日)と暦(365日)のズレを補正するため、年によって変動するそうです。今年2025年は、124年ぶりに節分が2月2日となった2021年に続き、4年ぶりに「2月3日でない節分」となるそうです。

冬と春の分かれ目である節分は、年の変わり目に等しいため、節分に豆まきなどをして邪気を払い、新しい年を迎えるのだそうです。恵方巻きを食べながら、お子さんとの会話のネタにいただければと思います。



PTAより図書の寄贈をいただきました。ありがとうございます。～読書環境の充実～

子どもたちにとって一番身近な図書館と言える学校の「図書室」は、「学校図書館」とも呼ばれています。滋賀県教育委員会では、学校図書館を活用した取組の充実を進めています。その一つとして、今年度から滋賀県立図書館内に「こどもとしょかん」サポートセンターが開設されました。同センターでは、市町の教育委員会とも連携を図りながら、学校図書館の活用・活性化の支援をされています。WEBサイト「こどもとしょかん」ポータルも開設されました。先日、本校にも訪問があり、学校図書館の利用の様子を見ていただいたり、担当者とお話いただきました。

学校としても、図書ボランティアや読み語りボランティア「マザーグース」の皆様にご支援ご協力いただいたり、毎週金曜日に勤務している図書館司書と連携したりしながら、さらには委員会活動において子どもたち自身も力を発揮しながら、読書環境の充実に向けて、取組を進めているところです。

今回、PTAより図書を寄贈いただいたことで、子どもが本を手取る機会をさらに増やすことができます。今後も、読書がもつ魅力や価値を子ども自身が感じられるようにしていきたいと考えています。ありがとうございました。

1月22日(水)は、たくさんの保護者様にご参観いただきました。ありがとうございました。

きらめき集会(児童会集会活動)

スマイル委員会が企画し、1月29日に開催されました。各委員会委員長からの決意発表や、保健委員会から「睡眠の効果」に関する発表、さらにはスマイル委員会から、きらめき集会で登場するキャラクターや役割分担の紹介がありました。

不具合によりマイクが使えない状況の中で、「聴こうとする思いやり」と「伝えようとする頑張り」が見られた集会となりました。

